

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 農業高校生海外実習派遣事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111(内8670)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,994 千円 (前年度予算額： 8,994 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,994	0	0	0	8,994	0	0	0	0
要求額	8,994	0	0	0	8,994	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

広い視野に立って積極的に農業に取り組み、国際理解を深めるとともに、自ら農業をプログラムできる担い手を育成することを目的として、農業高校生を海外に派遣する。派遣先では、体験学習や農業施設の視察を行い、海外農業の実態や日系移住者の優れた実践的経営や開拓者精神、環境と共生する新時代の農業の在り方を学ぶ。

(2) 事業内容

①派遣先

アメリカ合衆国(サンフランシスコ)、ブラジル連邦共和国(サンパウロ等)、ドイツ連邦共和国(フランクフルト)オランダ王国(アムステルダム)を予定

②派遣人員

県立農業高校生 10人 引率指導者 2人 計12人

③派遣期間

令和5年7月16日～8月6日(22日間)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	300	派遣先での農場実習指導等に対する謝金
旅費	2,222	引率教員旅費等
役員費	310	現地ガイド料等
使用料	162	派遣先での農業関連施設等への入場料金
交付金	6,000	生徒交付金
合計	8,994	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 ギフへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
目標3 国際理解教育の充実とグローバルに活躍する人材の育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

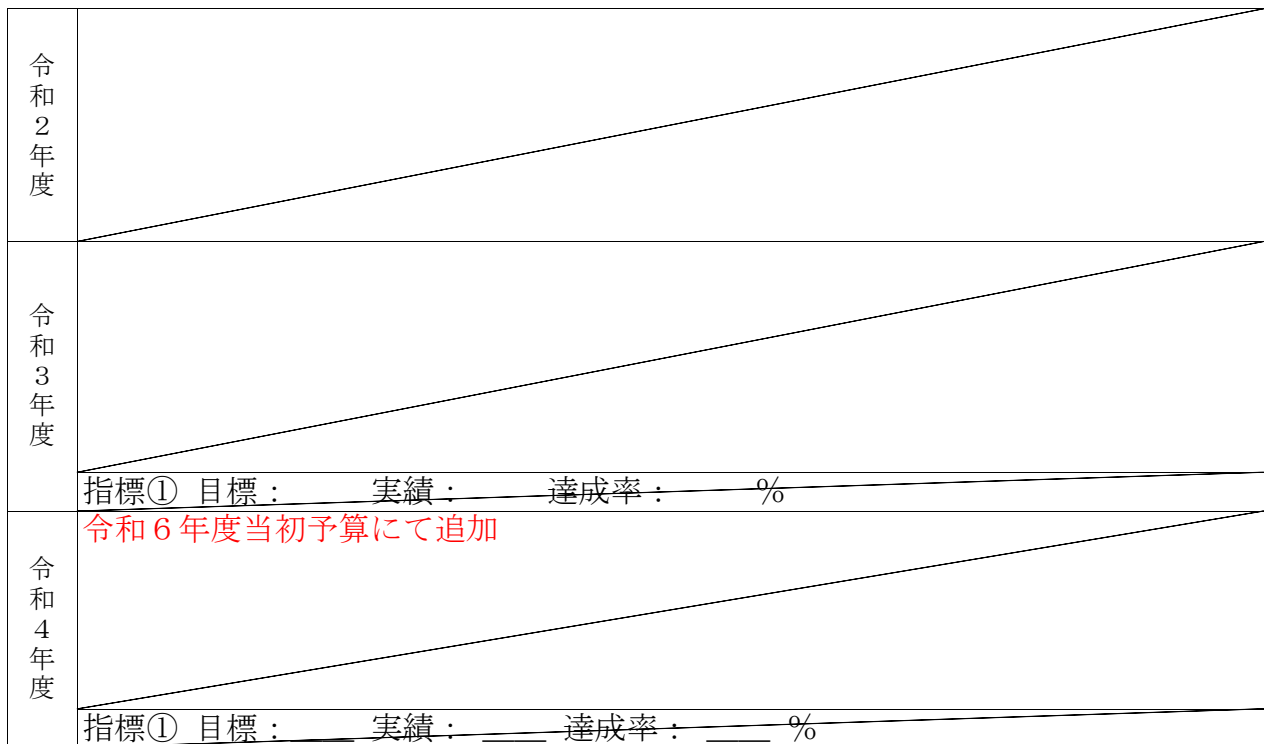
国際感覚を身に付け、広い視野に立って積極的に農業に取り組む地域の担い手を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 ()	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
派遣生徒数		中止	中止	10人	10人	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>派遣生の約3割が農業自営者、約5割が農業に関連する公務員、組合、企業等への従事または農業関連産業への従事を目指した進学者となっており、事業の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>過去の派遣生のうち、農業関係の進路が占める割合は81.4%と高く、指導農業士、青年農業士は、それぞれ7名と9名であり、県内各地域の農業経営のリーダーとして育てている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県内各地域に設置されている農業高校 (農業科設置校) から集まった生徒を派遣しており、将来の地域農業の中核を担う人材の育成を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域農業の活性化のためには、毎年コンスタントに農業高校生を派遣していく必要がある。 また、コロナの影響により直近3年間は代替事業として臨時的に実施しており、安全に渡航ができる状況を確認の上、本来の農業高校生海外実習派遣事業として実施し、農業人材の育成を進める必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県の農業人材を育成している本事業は、毎年確実に成果を上げていることから県民からの評価も非常に高い。したがって、引き続き各国の農業をより深く、体験的に学べるように、岐阜県出身の日系人による先進農家における実践的な農業実習、農学系大学等への訪問を通じた同世代交流などの内容で実施し、事業の充実を図る。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	